

上手な医療のかかり方の普及・啓発

1. 「みんなで医療を考える月間」の実施



Press Release

令和元年9月27日（金）

【照会先】

医政局医療経営支援課
医療勤務環境改善推進室
医療勤務環境改善調整官
高梨 哲（内線 2630）
（代表番号） 03（5253）1111

報道関係者 各位

「医療のかかり方を考える月間」の名称を
みんなで医療を考える月間に決定しました。

上手な医療のかかり方について我々国民に普及させるため、毎年11月を月間として各種キャンペーンを集中的に行うことを目的とし、「医療のかかり方を考える月間（仮称）」の名称募集を行った結果、「みんなで医療を考える月間」に名称が決定しましたので、お知らせいたします。

当月間の名称公募は、令和元年6月28日から7月19日まで募集を行い、厚生労働省医政局において選定の上、本日公表されたものとなります。

今後は、医療機関に掛かる患者が多くなる冬に向け、思い出すための機会を作るため、毎年11月を「みんなで医療を考える月間」とし、各種キャンペーンや付随するポスターやリーフレット、ホームページへの掲載など医療のかかり方の周知・広報に積極的に活用していきます。

1 選定名称：「みんなで医療を考える月間」

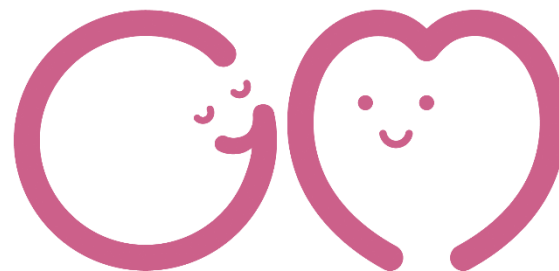
2 応募者：野上麻理さん 会社役員

3 本事業に関連する資料

○上手な医療のかかり方を広めるための懇談会

(https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_01491.html)

※11月1日はいい医療の日（日本医師会）



11.1 いい医療の日

Good Medical Day

※11月30日は人生会議の日

ACP（アドバンス・ケア・プランニング）の
愛称が「人生会議」に決まりました！



11月30日（いい看取り・看取られ）は「人生会議の日」

人生の最終段階における医療・ケアについて考える日

人生の最終段階における医療・ケアについて、前もって考え、家族や医療・ケアチーム等と繰り返し話し合い、共有する取組を「アドバンス・ケア・プランニング（ACP）」と呼びます。



詳しくは、厚生労働省のホームページをご覧ください。

http://https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_02783.html



2. アワードの創設 (1)プレスリリース



Press Release

報道関係者 各位

令和元年11月1日(金)

【照会先】

医政局医療経営支援課

医療勤務環境改善推進室 室長補佐

中澤 宏和 (内線 4145)

(代表番号) 03 (5253) 1111

厚生労働省主催

「上手な医療のかかり方アワード」初開催

厚生労働省では平成30年度に「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」^{※1}を開催し、その懇談会では議論の取りまとめとともに「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクト宣言!^{※2}が為されたところです。

これを踏まえ、「上手な医療のかかり方」の啓発や、医師をはじめとする医療従事者の負担軽減、若年層に対する医療受診の教育などに関して優れた取り組みを厚生労働省が表彰する「上手な医療のかかり方アワード」を開催いたします。

当アワードを通じて、その理念や取り組み内容などを広く発信し、国民の「上手な医療のかかり方」に関する理解を深め、取り組み主体の意識向上を目的といたします。

また、アワード開催に合わせて「上手な医療のかかり方」に関する総合ページ、[kakarikata.jp](http://www.kakarikata.jp) を開設いたしました。アワードの応募についても、当該ホームページ内で募集を行っておりますのでご参照ください。

○「上手な医療のかかり方」総合ページ（アワードエントリーページ）

<http://www.kakarikata.jp>（かかり方ドットジェイピー）

※1 「上手な医療のかかり方を広めるための懇談会」参考HP

https://www.mhlw.go.jp/stf/newpage_01491.html

※2 「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクト宣言!とは

<https://www.mhlw.go.jp/content/10800000/000458856.pdf>

2. アワードの創設 (2)実施概要



上手な医療のかかり方への貢献に資する
優れた啓発活動・取組を募集します!

上手な医療の かかり方アワード

あなたが知れば、
医療は救える。



第1回

応募要項

応募期間 令和元年 11月1日(金) ▶ 12月20日(金)

詳しくは上手な医療のかかり方公式サイトをご覧ください。

<http://www.kakarikata.jp>

上手な医療のかかり方 検索

実施概要

主催	厚生労働省(上手な医療のかかり方プロジェクト)
後援	※調整中
実施期間	◀応募受付▶令和元年11月1日(金)▶12月20日(金) ◀表彰式▶令和2年2月か3月(予定) 会場:厚生労働省低層棟2階講堂(予定)
応募対象	(1)保険者:市町村国保、国保組合、協会けんぽ、組合健保、共済組合、後期高齢者医療制度 (2)医療関係者:病院、診療所、医師会・病院団体等の関連団体 / (3)企業:一般企業 (4)民間団体:市民団体等 / (5)自治体:都道府県、市町村 (6)チラシ部門特別賞:上記(1)~(5)共通で募集テーマに合致したPRチラシのうち、特に秀でたものを表彰します。
募集部門	<input type="checkbox"/> 保険者部門 <input type="checkbox"/> 医療関係者部門 <input type="checkbox"/> 企業部門 <input type="checkbox"/> 民間団体部門 <input type="checkbox"/> 自治体部門 <input type="checkbox"/> チラシ部門
応募先	「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクト運営事務局
応募方法	書類を郵送またはメール送付
表彰	厚生労働大臣賞 最優秀賞(1件) 厚生労働省医政局長賞 保険者部門優秀賞(2件以内) / 医療関係者部門優秀賞(2件以内) / 企業部門優秀賞(2件以内) 民間団体部門優秀賞(2件以内) / 自治体部門優秀賞(2件以内) / チラシ部門特別賞(2件以内)
スケジュール(予定)	応募期間 <11月1日~12月20日> → 一次審査(書類審査) <1月初旬> → 最終審査会(2月上旬) → 受賞候補者通知 <2月上旬> → 最終審査・表彰式 <2月・3月予定>

① 保険者部門

<保険者のアクション例>

- ・あらゆる機会に医療のかかり方を啓発する(成人健診、特定健診、健康診断、公開講座)
- ・疾病予防への受診勧奨、健康相談や保健指導等での啓発周知と情報提供の機会を作る
- ・医療機関との連携により患者・家族支援体制や適切な医療情報が得られる体制を構築する
- ・民間企業自治体との連携を図り地域全体での周知アクションへ貢献する

② 医療関係者部門

<医療関係者のアクションの例>

- ・あらゆる機会に医療のかかり方を啓発する(待合室、母子健診、小児健診、成人健診、高齢者健診、学校健診、職域健診公開講座)
- ・電話相談や「医療情報サイト」などの最新情報をチェックして質を保つ
- ・タスクシフト・タスクシェア(業務の移管・共同化)を推進する・医療の質を上げ、患者の満足度を上げることにつながる
- ・どの医療従事者に相談したらよいかをサポートする患者・家族支援体制を整える
- ・管理者は働き方改革に真摯に取り組み、地域医療の継続にも貢献する
- ・医療従事者も患者の安全のため、健康管理に努め、きちんと休暇をとる等上手な医療のかかり方に関する院内推進部署を設置し患者と医療従事者にとってよりよい体制づくりに努める
- ・患者・家族の相談や苦情に対して適切に対応するために支援窓口を設け、適切な職員が対応できる体制を整える。
- ・薬剤師・看護師・保健師・助産師などの医療従事者が、能動的に活躍できるための仕組みを整える

③ 企業部門 ④ 民間団体部門

<企業・民間団体のアクションの例>

- ・従業員の健康を守ることを経営の柱とする
- ・柔軟な働き方に関する指標を健康経営に生かす
- ・業務の重なりを止め、仕事を皆でシェアする・それによりテレワークや休暇取得がしやすくなる
- ・体調が悪い時は、休みをとって自宅休業できるようにする
- ・インフルエンザなどの診断書を強制しない
- ・AIを活用した相談アプリの開発を進める! ユーザーフレンドリーな「医療情報サイト」の構築を進める

⑤ 自治体部門

<自治体行政のアクションの例>

- ・「いのちをまもり、医療をまもる」国民プロジェクトを継続・官民連携し推進
- ・「信頼できる医療情報サイト」の認証や支援をする
- ・#8000や#7119の体制整備を進め、周知を徹底する
- ・上手な医療のかかり方を直接伝えていく
- ・保護者が子どもの健康や医療について考えるタイミング(両親学級や乳幼児健診など)での直接講座等の実施
- ・「高齢者/高齢者に携わる人たちに」、大人の医療のかかり方が伝わるよう、介護施設や消防機関などへ協力を呼びかける
- ・学校教育等で若いうちに理解を促す
- ・医療機関の機能分化や集約、連携推進など、医師/医療従事者の長時間労働を改善する施策に取り組み

⑥ チラシ部門

<チラシ部門> 上記(1)~(5)共通で募集テーマに合致したPRチラシのうち、特に秀でたものを表彰します。

3. 国民全体に医療のかかり方の重要性に気づいてもらうための普及啓発

○上手な医療のかかり方大使任命イベントの開催

日時: 令和元年11月18日(月) 14:30~16:00

場所: 中央合同庁舎5号館 講堂(2階)

第1部:【大使の任命】



デーモン閣下

悪魔・アーティスト

魔暦紀元前 17(1982)年、ロックバンドの姿を借りた悪魔集団「聖飢魔Ⅱ」の歌唱・説法方として現世に侵寇。「芸術・娯楽の創出演出」「社会批評」「表現者」として、全方位マス・メディアで蔓延る。

今秋はアルバム「うた髑髏 -劇団☆新感線劇中歌集-」、12月にALICEとの共作「NEO」を発表。

魔暦 20(2018)年、厚生労働省「上手な医療のかかり方」懇談会メンバー。広島県がん検診啓発特使、早大相撲部特別参与、共に8期目。

公式 web site: <http://demon-kakka.jp/>



中村仁美(なかむら ひとみ)

1979年6月8日生まれで出身は神奈川県横浜市。趣味は読書、旅行、車の運転。

2002年株式会社フジテレビジョンに入社、アナウンス室に配属。2017年株式会社フジテレビジョン退社し、2018年にフリーアナウンサーとして活動開始。

『行列のできる法律相談所』『メレンゲの気持ち』『今夜くらべてみました』『プレバト!!』『帰れマンデー見っけ隊!!』など他多数のテレビ番組に出演。

第2部:【シンポジウム(上手な医療のかかり方について)】

○登壇者 デーモン閣下

中村仁美様

株式会社ワーク・ライフバランス 代表取締役社長 小室淑恵様

東京女子医科大学東医療センター 救命救急センター医師 赤星昴己様

一般社団法人知ろう小児医療守ろう子ども達の会 代表 阿真京子様

○12月以降の取組

【令和元年度の取組(普及啓発事業として委託)】

1. 「みんなで医療を考える月間」の実施
2. アワードの創設
3. 国民全体に医療のかかり方の重要性に気づいてもらうための普及啓発(CM等各種広告、著名人活用等)
⇒大使を活用したポスター・CMによる普及啓発
4. 信頼できる医療情報サイトの構築
⇒12月を目処に上手な医療のかかり方関連コンテンツ(医療機能情報提供制度等、関連リンク集掲載)
5. #8000・#7119(存在する地域のみ)の周知
⇒上記3. の中でPRを実施
6. 小・中学校及び母親学級等で医療のかかり方改善の必要性と好事例の普及啓発
⇒小・中学校及び母親学級等において使用する啓発冊子を作成し周知活動を検討。
7. 民間企業における普及啓発
⇒上記2. で企業の取組を広く収集し好事例を横展開する。

以上